

### 国公連合 2021年度 役員名簿

役 職	氏 名	所属組織
中央執行委員長	武 藤 公 明	全 農 林
副中央執行委員長	小 沼 寛 明	国 税 労 組
	田 村 史 生	政 労 連
	紺 谷 智 弘	全 駐 労
	倉 本 和 邦	税 関 労 組
	中 森 未 来	全 財 務
	高 倉 司	全 開 発
	高 良 芳 広	沖 縄 国 公 労
書 記 長	西 村 新 平	国 交 職 組
	莊 司 真 佐 人	財 務 職 組
	莊 司 真 佐 人	国 税 労 組
書 記 次 長	渡 邊 努	政 労 連
	渡 邊 由 一	全 農 林
中 央 執 行 委 員	豊 間 根 純	国 税 労 組
	三 浦 一 孝	国 税 労 組
	植 野 那 美	政 労 連
	清 水 千 代 宣	全 駐 労
	関 真 寿	全 農 林
	鈴 木 宏 彰	税 関 労 組
	菅 原 慎	全 財 務
	齋 藤 航 太 郎	全 開 発
	銘 苺 ひより	沖 縄 国 公 労
	渡 辺 昭 光	国 交 職 組
会 計 監 査 委 員	中 島 正 之	財 務 職 組
	西 野 博 文	全 駐 労
選 挙 管 理 委 員	村 岡 和 弥	税 関 労 組
	深 川 友 子	国 税 労 組
特 別 中 央 執 行 委 員	森 永 栄	政 労 連
	井 上 久 美 枝	政 労 連
	三 島 久 美 菜	政 労 連
	太 田 美	税 関 労 組

### 第21回 定期大会討論

決意・意見

### 職場や地域での課題に労働組合として取組む



平林代議員 (政労連)

日仏労働の不当解雇・賃金切り下げ撤回闘争にご理解いただき、支援カンパの取組みを展開していただいていることに感謝申し上げます。

私たちが日仏労働の組合員が働くアンステイチュ・フランセ日本は、フランス政府公式機関として日仏文化交流のための活動を行い、運営の柱はフランス語講座からの自己収入である。

ところが、この6月に使用者側がコロナ禍による財政難を理由として、唐突に「保全計画」なるものを全職員に対して表明してきた。

その内容は、5名の職員の解雇と半数にも満たない一部の職員の賃金カットによって資金ショートをしのごとくいう大変不平等なものであった。

解雇通知が行われた職員のうち、2名が日仏労働の組合員であることから、政労連の支援のもと団体交渉などを行って来たが、使用者側はその重要性を全く理解せず、残念ながら7月31日を迎え2名の組合員は解雇された。

私たちは、引き続き一刻も早

### 執行部見解

### 現状を共有し活動につなげる



答弁する荘司書記長

(日仏労働の闘争について) 政労連の日仏労働で発生した、一方的な解雇や賃金カットの問題については、直後に政労連からの状況報告を受け、執行委員会の中でもこういったことを許してしまえば、組合員の雇用

確保はもとより、労働組合の存在意義にも影響が及ぶことから、政労連・日仏労働の取り組みを積極的に支援していくことを確認した。これからの長い闘いになるかもしれないが、打電行動や抗議集会などを行う際には、でき得る限りの取り組みを国公連合としても行っていきたくと考えており、各構成組織にもご協力をお願いしていききたい。

(平和行動について) コロナ禍によって、沖縄平和行動をはじめ連合の各平和行動が中止、あるいは小規模化を余儀なくされたことは非常に残念である。また、沖縄で起きている問題については、執行委員会の場で沖縄国交労働の役員から逐次報告していただいております。糸満市の慰霊碑がある場所の土を使っているという動きについても共有してもらっている。今後も現地の様々な情報などを共有していただき、構成組織とも認識しながら、取り組みも連携して行っていきたくので、引き続きご協力願いたい。

隊員による少女暴行事件に端を発し、普天間基地の閉鎖が決定した。

しかし、沖縄県内での移転が条件とされ、現在、名護市辺野古に新基地が建設されようとしているが、選挙や県民投票で民意が辺野古建設はだめだと意思表示しても、日米両政府は全く聞く耳を持っておらず、埋め立て工事は強行されている。

沖縄には今なお在日米軍の70%余りがあり、そこは全駐労働に集う仲間たちが働く場でもあり、基地に接収をされた地主も糧を得ていることも事実である。しかし、唯一の激烈な地上戦が行われ、20万余りの命が戦争の犠牲となった地に、軍事基地が存在しているという自己矛盾を抱えている。

さらに、許されないことがまた沖縄の地で起きようとしている。沖縄県の南部にある糸満市には、沖縄戦の終結地として全国各県の慰霊碑や国の隔てなく沖縄戦全戦没者の慰霊碑である平和の礎が鎮座しているが、今なお戦没者の遺骨が収集されずに残っており、その戦没者の尊い血肉が染みついた土砂を、防衛省沖縄防衛局はあろうことか辺野古新基地建設の埋め立てに使用するという心情的にも人道的にも決して許せないことを画策している。

国公連合の仲間の皆さんには、今沖縄で起きていることを認識していただき、私ごととらえ、沖縄と共に行動することをお願いしたい。

### 「2022年度級別定数改定等要求書」提出交渉を実施

国公連合は9月29日、人事院に対して2022年度の級別定数改定等を求め、書記長クラスによる要求書提出交渉（リモート形式）を実施した。リモート開催のため、要求書は、事前に荘司書記長から好岡職員団体審議官に提出していたもの。

16時からの交渉開始後は、荘司書記長から要求書提出の目的について「来年度にむけて各府省が取り組む課題、特に新型コロナウイルス感染症対策をはじめとした重要政策のための定員増が挙げられているが、厳しい国の財政やコロナ対策として大規模な財政出動もされたことから、機構・定員や級別定数の査定も厳しくなるものと予想される。各構成組織が共有できる項目に沿った形で要求書を取りまとめた。また、各府省庁の職場は年齢構成等が異なっているため、それぞれの組織の現状について述べるので、現時点での考え方などを伺いたい」と発言し、その後、各構成組織からの個別要請を行った。



リモートでの参加者

それを受け好岡審議官は、「来年度の級別定数等に関する皆さんの要望は承った。本年も予算編成のスケジュールに沿って、各府省の実情や職員団体の要望等も伺いながら作業を進めていく。各ポストの職務・職責の変化について級別標準職務表を物差しとして適切に評価するという基本スタンスに変わりはないが、今後、個別の会見を通じて、担当レベルでより詳細な意見・要望を伺ってまいりたい」との見解を示した。

最後に荘司書記長が、「職員の労苦に少しでも報いる処遇改善には、やはりポストや級別定数が足りないということを十分に理解していただきたい。今後の各構成組織や地方ブロックからの現場の声に十分に受け止め、今後の作業に反映していただきたい。しかるべき時期に委員長クラス交渉を行うので回答をいただきたい。」と要請して交渉を終えた。



連合会館での交渉出席者の様子

続くコロナ禍の過酷な状況下で 精一杯がんばる職員に報いる処遇改善を求める

### 国公連合男女平等参画推進委員会 人事院へ要求書を提出



要求書を手交する鈴木委員長(左)と人事院の増尾参事官

国公連合男女平等参画推進委員会(鈴木委員長)は10月12日、「8月に出された『公務員人事管理に関する報告』で長年求めてきた男性の育休取得回数制限緩和や不妊治療のための休暇制度の新設について挙げられことは評価する一方、残された課題にはまだまだたくさんあるとして、新型コロナウイルス感染拡大によって急速に導入された在宅勤務や時差出勤等とそれらへの両立支援への適切な対応と昨年6月に施行されたパワハラ防止等の改正人事院規則に基づき、実効性のある対策の徹底や問題事案の早期解決などを求め人事院交渉を実施した。交渉は、緊急事態宣言が終了していることから、対面での交渉(非現業のみ参加)となった。鈴木委員長が増尾職員福祉局・給与局参事官に要求書を提出し、要求項目を説明した。項目の柱は、①女性職員の採用拡大、登用推進、②ワーク・ライフ・バランスが図られる職場環境の確立、③母性の社会的保護と男女が生涯健康で働き続けられるよう制度・環境の整備、④公務職場におけるあら

ゆるハラスメントの根絶、の4点。各構成組織の参加者からは、不妊治療休暇の早期法制化、育児・介護等支援制度の拡充、適正な勤務時間の管理、定員枠の拡充・管理の弾力化、国会質問の早期通告などを求めた。それに対し増尾参事官からは、「男女平等参画推進のテーマで現場の声を聞かせていただけることは有意義」として、①女性職員の人材確保、登用に向けて引き続き各府省庁を支援していく、②超勤上限規制については国家公務員の長時間労働を是正することは重要。引き続き適切に役割を果たしていく、③育児・看護等の休暇の改善、新設は引き続き要望として受け取る、④パワハラ等をはじめ各種ハラスメント防止の人事院規則を整備したので、円滑な運用に向け支援・指導を行っていく、などと回答した。

最後に鈴木委員長が「引き続き交渉・協議、意見交換の場を設けて職場・職員の声に耳を傾け、制度改正等に反映していただきたい」と要請して交渉を終えた。



男女平等参画推進委員会交渉の様子

残された課題や新たな課題解決のため、現場の声をきいてほしい